

年度評価シート

課名 高齢者福祉課

施設の名称 静岡市小鹿老人福祉センター	指定管理者名 公益財団法人静岡市文化振興財団
1 履行状況	
<p>続く新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に届かなかったが、徐々に利用者も戻ってきており、業務は概ね適切に実施できている。</p> <p>[施設利用者数] 令和4年度の利用者数は30,580人であり、前年度より6,229人の増加となっている。</p> <p>[事業実施状況] 主催26事業(199回)、共催4事業(35回)の計30事業を実施した。 コロナ禍で高まった、自宅で手軽に演奏できる楽器へのニーズに応えた「はじめてのウクレレ」の継続実施や、希望の声が多く寄せられていた「しぞ〜かでん伝体操」の年間通じての実施等により、安定的に利用者を確保した。また、情報リテラシーの向上を目的とし「iPhone 基礎講座」2コースを実施した。スマートフォン初心者であることに配慮した講師の丁寧な指導が行き届き、高齢者のデジタルディバイド解消に寄与した。</p>	
2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応等)	
<p>利用者からの要望に対し協議・検討を行い、迅速な対応が行われている点は評価できる。</p> <p>また、施設に対して利用者から快適に利用ができているといった声が挙がっている。</p>	
3 市民(利用者)へのアンケートや満足度調査の状況評価	
<p>245件の回答のうち、職員の対応について「満足」または「ほぼ満足」が98.4%、清掃、整理整頓について「満足」または「やや満足」が98.8%と良好な評価であった。</p>	
4 指定管理者の経理状況の評価	
<p>指定管理業務についての収支状況については、概ね予算のとおり執行されており、良好であった。</p>	
5 総合的な評価(課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など)	
前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
<p>コロナ禍にあっても直近3年間の利用者数が右肩上がりに推移していることから、利用者ニーズを捉えた事業を推進し、利用者の増加に努めた点は評価できるものの、令和元年度と比較すると未だ約50%となっている。令和5年度も引き続き、駿河生涯学習センター、南部勤労者福祉センターとの一括管理メリットを活かしながら利用者数増加のための創意工夫に期待したい。</p>	

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改

善状況を記載すること。